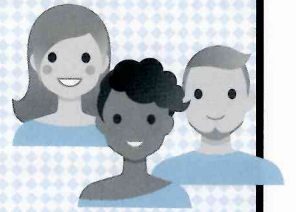




# FAIR

Fujinomiya Association for International Relations  
富士宮市国際交流協会会報



No.81  
2018.4



富士宮市長  
会長 須藤 秀忠

会員の皆様におかれましては、日頃から、協会の様々な事業を通じて、国際交流や国際理解の推進に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。

特に日本語支援ボランティアの皆様におかれましては、長年にわたり熱意を持って御支援をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年度は富士宮市の国際交流活動にとりまして記念すべきことが多くありました。5月19日には提携5周年を迎えた韓国・栄州市を訪問し、6月24日には台湾・台南市への訪問により新たに友好交流関係都市協定を締結するとともに、11月14日には提携20周年を迎えた中国・紹興市を訪問いたしました。これらの訪問により、交流人口の増加につなげていくとともに、観光・文化・産業などでさらなる交流の活発化が図られました。

また、12月23日には、待望の静岡県富士山世界遺産センターが開館し、2か月で10万人以上の観光客が

訪れるなど、市内は大変な賑わいを見せております。市としましては、国際感覚に優れたグローバルな人材育成を目的に、平成29年度を「英語力向上元年」と定め、中学生をニュージーランドに、教職員をイギリスに派遣し、それぞれホームステイを行い、英語研修や英語指導法の研修を学ばせました。

小学生につきましては、富士宮市を訪れる外国人に対し観光地などを英語・中国語・韓国語で紹介することができる『小学生のための外国語ハンドブック』を作成し、小学校5・6年生の全ての児童に配布しました。韓国・栄州市からの中学生交流訪問団が来宮した際には、大宮小児童が浅間大社をガイドするなど、机上の学習をすぐに実践できる環境は富士宮市ならではのものでありました。

今年度は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スペイン空手ナショナルチームの事前キャンプの受入れを行う予定です。多くの市民の皆様がスペイン空手ナショナルチームと交流し、おもてなしの心を育てていただきますことを御期待申し上げます。

会員の皆様におかれましては、「富士山の恵みを活かした 元気に輝く国際文化都市」にふさわしい国際交流活動の実現に向けて、御活躍されますよう祈念申し上げます。

## 富士宮市国際交流協会 平成29(2017)年度事業

- 5月** 総会  
第1期語学講座・日本語教室開始  
栄州市産業交流訪問団／栄州市芸総芸術団来宮  
第11回富士宮商工フェア参加
- 6月** 国際理解力向上事業  
「ふじのみや流外国人おもてなしサポーター養成講座」  
多文化共生事業「日本語支援ボランティア養成講座～概論」  
世界の料理教室「富士山の巻き寿司を作ろう」
- 7月** 国際交流パーティ「英語 de しゃべら Night」
- 8月** 宮おどり参加  
国際理解力向上事業「ロブ先生と英語で遊ぼう！」
- 9月** 第2期語学講座・日本語教室開始
- 10月** きららまつり参加  
多文化共生事業「日本語支援ボランティア養成講座～実践編」  
韓国・栄州市友好交流関係都市提携5周年記念訪問団派遣  
世界の料理教室「本場タイ料理を学ぼう！」
- 11月** 韓国・栄州市中学生研修交流訪問団来宮  
世界の料理教室「ブラジルのプリン」  
国際交流週間 富士宮市都市交流事業パネル展

- 12月** 万野2区防災訓練 協力  
国際交流イベント「国際カラオケ大会」  
国際理解力向上事業「Let's Enjoy ゴスペルソング」
- 1月** 第3期語学講座・日本語教室開始  
国際理解力向上事業「ファイティン！平昌」
- 2月** 世界の料理教室「日本のお菓子を作ろう」
- 3月** 国際交流パーティ  
「富士宮のSAKE文化を楽しもう！」



台湾・台南市と友好交流関係都市提携を締結しました。

上記以外に年間を通じて、日本語を母語としない市内児童・生徒に対し日本語支援を行っています。また、外国籍市民への日本語支援の場として月1回「おしゃべりラウンジ」を開催。そのほか富士宮市役所の協力により、「広報ふじのみや外国語版（ポルトガル語・英語・スペイン語）」の発行・配布を行っています。



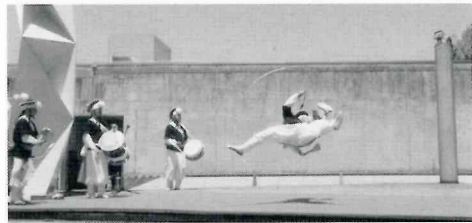
# 都市交流事業 韓国・<sup>ヨンジュ</sup>栄州市と友好交流関係都市提携5周年を迎えました

## 栄州市産業訪問団来宮

5/26(金)～29(月) 富士宮市の友好交流関係都市である韓国栄州市から、<sup>ミン</sup>閔仁基副市長を団長とする産業交流訪問団および文化芸術団体マダンノリ・デンドンオミチームが来宮し、第11回富士宮商工フェアに参加しました。



上：過密スケジュールの中、ミスユニバース静岡代表（H 25 年度ミス富士山）とホットー息の訪問団。  
右：栄州市のブースには特産の人絹と高麗人参が並び、多くの市民が足を止めていました。



右上：28日(日)にはさくや長屋門ダイニングにて歓迎夕食会を開催し、地元食材を堪能していただきました。閔仁基副市長は須藤会長(市長)と日本語で交流するなど、温かい雰囲気の中で、親交を深めることができました。



右下：バリエーション豊かな高麗人参の商品。



左：商工フェアのステージにて、太鼓や鉦の音とともに宙を舞う勇壮な舞。



下左：25日(木)には月あかりにてF A I R都市交流委員ほか、中級韓国語の受講生が参加し、劇団員と交流しました。

下右：可憐な笑顔で会場を魅了したデンドンオミチームの女性たち。





# 都市交流事業



## 富士宮市友好訪問団派遣

5/18(木)～21(日)、芦澤副市長を団長とする友好訪問団が榮州市を訪れ、張 或<sup>フクシ</sup>榮州市長とともに、榮州市役所前にて記念樹の松を植樹しました。

## 富士宮市産業調査訪問団派遣／都市提携5周年記念訪問団派遣

10/20(金)～23(月)、杉山企画部長を団長とする富士宮市産業調査訪問団とともに、友好交流関係都市提携5周年記念訪問団として原理事長が榮州市を訪問しました。



金榮州市国際交流協会会長との再会を喜ぶ原理事長



両市職員により、經濟交流がますます発展するよう、特に富士ひのぎや高麗人参についての前向きな意見交換が行われました。

## 榮州市中学生交流研修訪問団来宮

11/3(金)～7(火)、榮州市から中学生18人が来宮し、市内観光や浅間大社の秋祭りに参加したほか、市内小中学生と交流しました。

右：市長表敬にて、須藤会長(市長)とともに紅富士に感嘆する金会長。



上：浅間大社を案内する大宮小児童。

右：富士宮第三中学校では英語の授業に参加。





## 市民交流事業

### 国際理解講座

富士宮市へ観光で訪れる外国人が増加していく中で、外国の言葉や文化に対してストレスを感じることなく接することができるように、市民1人1人の国際理解力向上を目的とした講座。

#### 『ふじのみや流外国人おもてなしサポーター養成講座』



6/4(日) 山下大介 A.C.C. 国際交流学園理事長、中村雅子 OfficeREVO 代表取締役(写真左)、市民交流課谷川光基さんをお招きし、富士宮市を取り巻く国際交流の状況や、外国人と交流するための心構え・マナーなど、おもてなしの心を学びました。



A.C.C. からは留学生8人の協力をいただき、講座受講生は留学生のおもてなし体験を行いました。  
(写真上: キャビンハウスヤドさん協力)

#### 『Let's Enjoy ゴスペルソング』 おしゃべりラウンジ共催

12/16(土) 英会話 E-com/Leoya Music Factory 主宰の大野秀子さんを講師に迎え、日本のクリスマスとは異なるクリスチアンの文化に触れることを目的に、駅前十六市で英語の歌声を披露しました。



#### 『ロブ先生と英語で遊ぼう!』

8/20(日) プライム英会話ロバート・ベックさんを講師に迎え“英語を好きになる”ことを目的とし、夏休み中の小学1~3年生を対象に行いました。はじめは緊張していた児童も、講座終盤には笑顔で英語の歌を歌っていました。



#### 『ファイティン平昌!』 ~冬季オリンピック・パラリンピックを楽しもう~

1/21(日) FAIR 韓国語講座でお馴染みのことばアカデミー柳仙珠さんを講師に迎え、開幕を控えた大会の会場となる平昌や江陵のお話をうかがいました。

韓国語で質問したりアンケートに答えた受講生もいて、ブームで終わらなかった韓流の根付きと受講生の意識の高さを感じました。  
\*ファイティン=韓国語で「がんばれ」の意





# 市民交流事業

## 国際交流パーティー

7/9 (日) POTLUCK PARTY in ENGLISH『英語 de しゃべら Night!』(写真下)、3/18 (日)『富士宮のSAKE文化を楽しもう!~富士錦蔵開き体験~』を行いました。  
 「仲良くなれば、言語も超越!」とばかりにジェスチュアを含むありとあらゆる交流手段で楽しい時間を共有しました。



## 宮おどり

8/6 (日) 今年も『富士宮市国際交流協会連』として練り歩きました!



## 国際カラオケ大会 2017

12/3 (日) 富士宮市総合福祉会館にて“外国人は日本語の歌を、日本人は外国語の歌を”歌うことをルールに開催されました。今年で3回目を迎え、韓国・中国・インドネシア・ブラジル・台湾からののだ自慢たちの美しい発声に圧倒される一方で、日本人参加者たちもパフォーマンスで魅せ、早くも来年へ向けた抱負が聞かれました。

金賞：イシヒラ シルビアさん  
 (ブラジル)  
 絢香『三日月』

銀賞：内海 尚美さん  
 (英語詞)  
 ダイアナ・ロス  
 『If we hold  
 on together』

銅賞：赤池 タイさん  
 (英語詞)  
 パティ・ペイジ  
 『テネシー・ワルツ』



イシヒラさんファミリーが県西部から駆けつけたほか、たくさんの応援団が見守りました。特別審査員ホベルト&ミカのライブに聞き惚れたあとは、お2人の演奏するサンバのリズムにみんなで乗って散会となりました。

特別賞 (左)：キム・ソヨンさん  
 (韓国)  
 Dreams come true  
 『未来予想図Ⅱ』

特別賞 (右)：ホア・タンニンさん  
 (中国)  
 家入レオ  
 『ずっとふたりで』

パフォーマンス賞：坂本 光俊さん  
 (イタリア語詞)  
 Domenico Modugno  
 『ボラーレ』





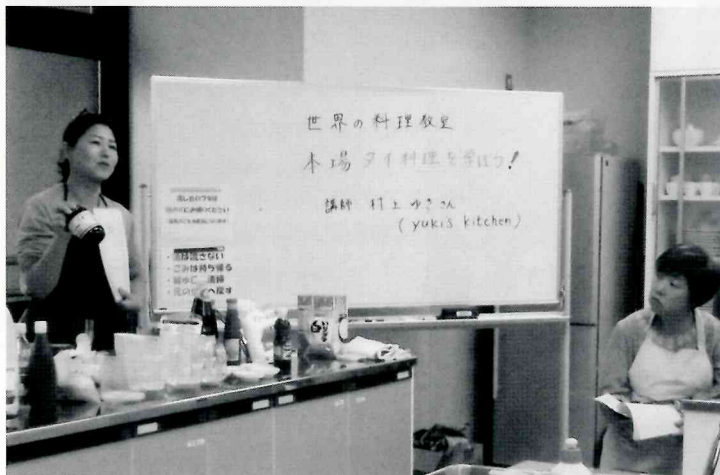
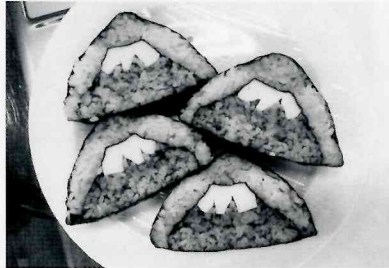
## 市民交流事業 × 日本語支援事業

### 世界の料理教室

各国の料理を通じて、その国の生活や文化を学ぶことを目的とした事業。日本語支援委員会による『おしゃべりラウンジ』と連携しながら、外国人対象の料理教室も開催しました。

#### 『富士山の巻き寿司を作ろう』 おしゃべりラウンジ共催

6/18(日) 川澄飾り巻き寿司協会公認講師松井亮子さんを迎え開催しました。ベトナム・インドネシア・ブラジル出身の参加者は「米粒をノリ代わりに使ってノリ同士をくっつける」に大混乱!



#### 『本場タイ料理を学ぼう!』

10/22(日) タイ滞在歴20年、YUKI'S KITCHENの村上有紀さんを講師に迎え、パッタイやトムヤムクンなどを作りました。



#### 『日本のお菓子を作ろう』 おしゃべりラウンジ共催

2/18(日) 藤太郎の後藤健さんを講師に迎え、どらやきを作りました。星陵高校英語部のボランティアが手伝ってくれる中、ベトナム・フィリピン・スリランカ・イラン出身の参加者は、ひっくり返すのに悪戦苦闘。日本語支援委員会が振る舞うほうとうとともに、どらやきをおいしくいただきました。

#### 『ブラジルのプリン』

11/19(日) ラテンアメリカ研究会の協力により、ブラジルのプリン“プジン”を作りました。お昼にはフェジョアードやコーヒーも振る舞われ、お腹いっぱい。南米出身の方は特に、ファミリーで参加して下さるのが魅力です。





# 日本語支援事業

## きららまつり

10/15(日)～16(月)に行われた富士宮駅前交流センター主催の『きららまつり』では、パネルによるFAIRの活動展示や、おしゃべりラウンジが開催されました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

成。日本語支援委員によるパネル作



富士宮市外国人相談室の協力によるブラジル料理試食コーナー。

来館者でにぎわう会場。



朝から試食品を調理してくれた日系ブラジル人の皆さん。

## 日本語支援ボランティア養成講座

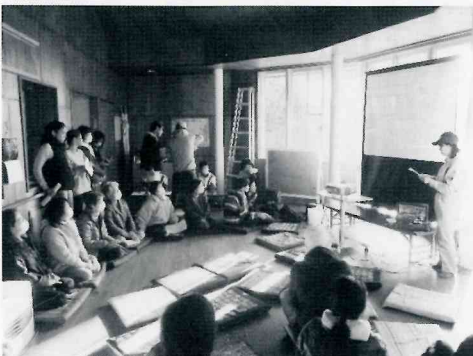
今年度は「概論」6/13(火)～7/13(木)、「実践編」10/19(木)～11/16(木)の2期各9回に分け開催しました。

外国人を“日本語で支援する”とはどういうことなのか、経験も実績もあるA.C.C.国際交流学園渡邊佳代子校長の講義は受講生の心を打つものであったようです。その感動を、実際の支援とどうつなげていったら良いのか、FAIRとしてできることは何なのか、それは日本語支援委員会のみならず、FAIR全体・市民全体で協働して改善していく課題でもあります。



## 外国籍市民に対する防災支援

12/3(日)外国人集住地区である万野2区および富士宮市と協働し、地域防災訓練において外国籍市民の通訳等のサポートに入りました。富士宮市危機管理局がポルトガル語通訳を交えて防災講話をしたほか、区長が“やさしい日本語”で呼びかける等、外国人を考慮した訓練となりました。FAIRボランティアは、避難所への誘導を行ったり、三角巾を寄付。また、それに先立つ9/17(日)には日本語支援委員会が災害VC富士宮連絡会の協力のもと「おしゃべりラウンジ～防災スペシャル～」を開催し、防災テントや簡易トイレの実物に触れる機会を設けました。





## FAIR スローガン 富士山のまち、富士宮から世界へ！



## 世界から、富士山のまち富士宮へ！

富士宮市の人や文化が世界へ羽ばたいて欲しいと平成 26 年に作成されたスローガン。一方で、世界から富士宮市を選んで活躍されている方も多くいらっしゃいます。一部ですが、そんな皆さんをご紹介します。

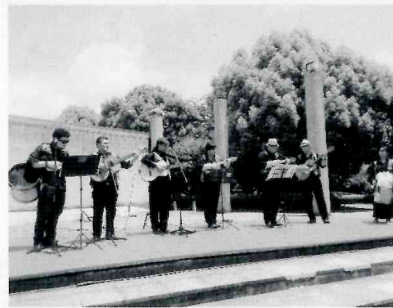
### ラテンアメリカ研究会

“「ラテンアメリカ」諸国を研究することにより、民族間の交流と相互理解を深め、同時に会員各自の人格形成を目指し、世界平和への希望の力となることを目的とする”と会則に定めている団体。研究会の輪はいまやラテンアメリカに留まらず、主催事業のブラジル式バーベキューシュラスコの際には、スリランカのカレーも定番になってきました（写真中）。外国籍市民に対する通訳ボランティアとしても多く貢献していただいています。Muito Obrigada!



### 富士アンディーノ

ホンジュラス出身のゲバラさんを中心に、きららで行われた JICE 外国人就労定着支援で机を並べた仲間と結成された南米音楽の演奏チームです。ダンスもギターもプロフェッショナルなゲバラさんが演奏しているケーナ（写真右）は、同じく商工フェアに出店していた富士宮市の企業がオリジナルで開発した金属製のものです。このような才能同士の出会いが、富士宮市の国際的な発展につながっていくのだと感じました。



5/27(土)・28(日)にかけて富士宮市民体育館で行われた第11回富士宮商工フェアステージでは、栄州市の芸術団のみならず、富士宮市在住で「外国につながる」多くの団体にもご協力いただきました。この場をお借りしてご紹介することも、改めてお礼申し上げます。

### フラメンコアシュラム

キューバ出身の旦那さんが FAIR と引き合わせて下さった、スペイン出身の望月まどりさん主宰のフラメンコチームです。陽射しがきつい中でのステージとなりましたが、「アンダルシアの風を感じた！」と情熱的なパフォーマンスを披露してくださいました。Muchas Gracias!



### インド舞踊の会サランガイ

インドで修業を積んだ平林千亜紀さん主宰のインド舞踊チームです。商工フェアのみならず、ボランティアまつり「ふれあいトーク」でも FAIR 代表としてステージ発表をさせていただきました。富士宮という地でインド舞踊の華が咲き続けています。Thank You!



FAIR が団体会員となっている富士宮市社会福祉協議会の理事として1年がんばっていただきました仲嶋さん、ありがとうございました！（ふれあいトーク舞台の敏腕スカウトマン！）

編集・レイアウト・発行/  
FAIR事務局  
編集者 吉野 明日香  
〒418-0065 富士宮市中央町5番7号  
富士宮駅前交流センターきらら内  
富士宮市国際交流協会 (FAIR)  
TEL (0544)22-8111  
E-mail: info@fair-fujinomiya.com  
URL https://www.fair-fujinomiya.com

デザイン・印刷/  
㈱きょうちんさつ  
TEL (0544)27-4055

### 編集後記

19年前、好奇心からイスラエルに旅立ちました。その後欧州をバックパッカーとして放浪し、帰国。多くの人種・民族と交流する中で「どこの国の人にも助けてもらった、その恩返しをしたい」というのが事務局を志望した理由でした。結果は恩返しどころか、やはり多くの人に助けられてばかり。これはもう、仕方ないな、一生恩返しし続けるしかないな、と腹を括り、事務局を卒業します。5年間、本当にありがとうございました。（事務局 吉野）